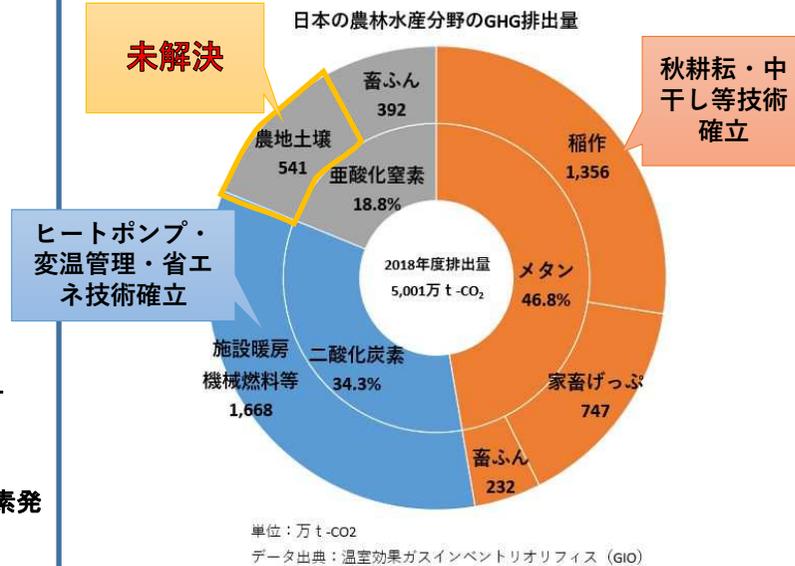


【成長戦略研究】野菜栽培ほ場における温室効果ガス亜酸化窒素発生抑制技術の確立（R5～7）

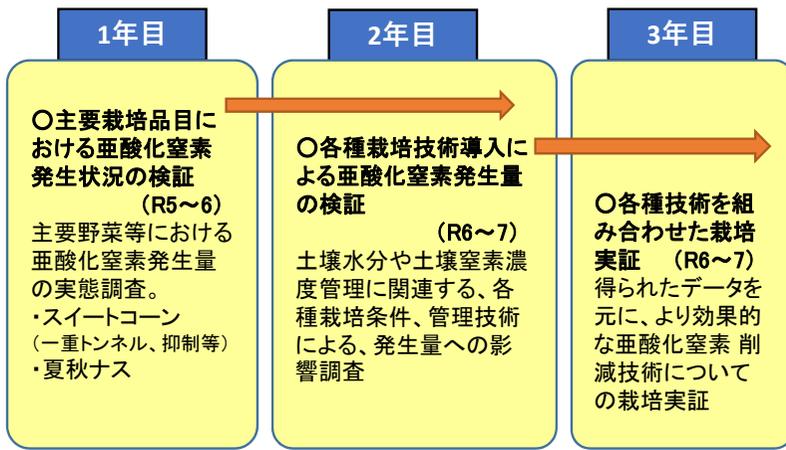
総合農業技術センター

背景・目的

- 持続可能な開発目標「みどりの食料システム戦略」を国が策定
県も、温室効果ガス削減に取り組み中
- 農耕地から発生する温室効果ガスは**メタン、二酸化炭素、亜酸化窒素**
- メタン、二酸化炭素**の削減技術は多くの研究がなされている
- 亜酸化窒素**は1分子当たりの温室効果が**二酸化炭素の約300倍**
- 亜酸化窒素**は、**肥料中の窒素成分 アンモニアや硝酸**等から発生
- 露地スイートコーン栽培で発生量を70%以上削減できる方法について報告
(H28成果情報) 他の作型・品目については不明
- そこで、**県内主要野菜のスイートコーン、夏秋ナス栽培における亜酸化窒素発生量の削減技術**を確立し、**畑地からの発生量70%削減**を目指す



試験内容



期待される効果

- ・県内野菜栽培における、**亜酸化窒素の発生量を把握**することができる。
- ・栽培技術により**亜酸化窒素発生を抑制**することが可能となる。
- ・生産力と持続性を両立した栽培技術が**確立**される。

